

## 地図読みハイキングで箕面公園まで 里山の森を歩く

きたろうハイキングクラブ／大阪  
国枝 宏子



大阪府北摂地域の山間農村部は石造文化財がいたるところに見受けられる。13世紀から17世紀の石仏や史跡

大阪平野の北にどんどんと突き当たった山が五月山箕面連山。そこにはトンネルが開通して箕面奥地にある止々呂美へ数分で行けるようになつた。明ヶ田尾山は連山の北端に位置する最高峰 619.9m。止々呂美バス停前の余野川に架かる大正橋を渡り住宅地を川沿いに青龍寺を経て道なりに進むと「やまみち」と書かれた石標がある。果樹園跡を登り平らな丘状の稜線に出ると向かいの箕面森町葉樹林の広い谷に出ると、木々の葉が落ち見通しが良くなり微かにが一望できる。植林の道を経て広小道があるのがわかる。落ち葉の下の霜柱を踏みながら歩くのも楽しい。春には桜の古木が散らす花びらの絨毯の上を歩く。これもまた嬉しい。

地図で方向を確認しながら、歩きやすい所を選べばそこが道になる。鉢伏山から0・5km北の三叉路を目指して歩く。この辺りは高山から池田に通じる街道で、地元の物産品を背負つて往来した人々はやはり歩きやすい道を行つことでしょう。

箕面公園にはいろんなコースがありが、いずれも整備されているので体力や時間、好みで選べばいい。明ヶ田尾山は地図が読めるハイキングの経験者と同行すること。地図読みしながらのハイキングはひとりひとりが地図を理解するためには、少数がいいでしよう。

登りは登山道を使う。稜線に出て高山からの豊能自然歩道を右に見て真っ直ぐ進むと、広く開けた明るい田のような明ヶ田尾山頂上に至る。帰路は途中までは登山道を下る。広い谷を経て西側に進み、数分の急登から細い尾根道を南へ。三叉路に着く。この細尾根は止々呂美的集落や遠くの山々の展望が良い。

登りは登山道を使う。稜線に出て高山からの豊能自然歩道を右に見て真っ直ぐ進むと、広く開けた明るい田のような明ヶ田尾山頂上に至る。帰路は途中までは登山道を下る。広い谷を経て西側に進み、数分の急登から細い尾根道を南へ。三叉路に着く。この細尾根は止々呂美的集落や遠くの山々の展望が良い。



豊能町川尻から のどかな集落の風景



- ④ 止々呂美南バス停 > 120 分 > 明ヶ田尾山 > 60 分 > 鉢伏山 > 30 分 > みのお記念の森 > 120 分 > 箕面山
- ⑤ 往路：大阪市地下鉄御堂筋線／北大阪急行線終点の千里中央駅下車 阪急バスの箕面森町で止々呂美南(19分)下車  
復路：阪急電鉄箕面駅 > 石橋駅 > 梅田（大阪駅）、箕面駅前から阪急バス千里中央行もある
- ⑥ 明ヶ田尾山は豊能町役場 0727-39-0001  
明治の森箕面国定公園は箕面ビジターセンター 0727-23-0649
- ⑦ 中止々呂美にある石仏の一石六地蔵  
明ヶ田尾山から高山方面に出れば石仏や史跡がある  
山里の屋敷には「うだつ」についている家紋や土蔵の窓など
- ⑧ 広根
- ⑨ 参考タイム ⑩ 交通 ⑪ 問い合わせ ⑫ 名所 ⑬ 地形図